令和 8 年 8 月 27 日

和泉市長　辻　宏康　様

和泉市立総合医療センター
経営評価委員会　委員長　髙杉　豊

令和 7 年度　和泉市立総合医療センターの指定管理者による
管理運営状況の評価について　（答申）

令和 7 年 8 月 28 日付けで和泉市長から諮問のあった標記について、下記のとおり答申します。

記

1．評価の考え方

指定管理者（医療法人徳洲会）から令和 7 年度の管理運営実績の報告を受け、本委員会で点検、評価を行った。評価方法は、第 3 項に掲げる点数方式による評価とともに、数値では表示しがたい点については、第 4 項に本委員会からの意見を付した。また、令和 6 年 3 月に策定された和泉市立総合医療センター経営強化プラン（以下「経営強化プラン」）についても実施状況の評価及び総括を行った。

2．令和 7 年度管理運営の概況

(1) 救急患者数及び救急搬送

前年度は、インフルエンザ等の流行もあり、救急患者数は増加傾向にあったが、今年度はその流行が抑えられたため、全体の救急患者数は前年度より減少した。

また、救急搬送件数も全体としては減少したが、市消防本部からの救急搬送者は微増した。

	令和7年度	令和6年度	前年度比較 （増減率）
救急患者数	14,009 人	15,581 人	▲1,572 人 （▲10.1%）

	令和7年度	令和6年度	前年度比較 （増減率）	経営強化プラン 令和7年度目標値
救急搬送者数	3,620 人	3,695 人	▲75 人 （▲2.0%）	4,000 人

	令和7年度 （搬送率）	令和6年度 （搬送率）	前年度比較 （増減率）	経営強化プラン 令和7年度目標値
市消防本部 救急搬送者数	2,353 人 （23.1%）	2,341 人 （24.8%）	12 人 （0.5%）	28.0%

(2) 患者数

入院患者数、外来患者数ともに、経営強化プランの目標値を上回る結果となった。

	令和7年度	令和6年度	前年度比較（増減率）	経営強化プラン 令和7年度目標値
1日当たり入院患者数（退院日の患者を含まない）	300 人	304 人	▲4 人（▲1.3%）	292 人
1日当たり外来患者数	1,110 人	1,114 人	▲4 人（▲0.4%）	1,008 人

(3) 収支状況

今期の赤字計上は、医療経営活動に起因するものではなく、一時的な外部要因（増築棟の寄付）によるものです。入院・外来診療共に順調に増益を達成しており、外部要因を除くと経営強化プランの目標値を上回っており、本質的な経営状況は良好に推移している。

増築棟の寄付含む	令和7年度	令和6年度	前年度比較	経営強化プラン 令和7年度目標値
経常損益	▲2,749,253 千円	1,690,116 千円	▲4,439,369 千円	
経常収支比率	86.3%	111.2%	▲24.9%	109.0%

増築棟の寄付除く	令和7年度	令和6年度	前年度比較	経営強化プラン 令和7年度目標値
経常損益	1,561,220 千円	1,690,116 千円	▲128,896 千円	
経常収支比率	109.9%	111.2%	▲1.3%	109.0%

３．評価１（評点結果）

評価対象	NO	評価項目	評価
役割・機能	1	和泉市立総合医療センターの役割・機能について	4
医療機能	2	施設利用者数等の状況について	5
連携の強化	3	地域医療機関との連携強化について	4
職員確保	4	必要なスタッフの確保と時間外勤務について	4
医療の質	5	医療の標準化・質の向上	4
医療機能	6	救急医療体制の整備について	4
医療の質	7	患者サービスの向上	4
経営指標	8	安定した病院経営	5
医療機能	9	高度・専門医療について	4
災害・感染症対策	10	災害時医療・感染症対策	5
合計評価点（ 43 点 ／ 50 点）			43

評点の考え方	点数
目標値を上回った。達成度 100%以上	5 点
目標値を達成できた。達成度 90%以上	4 点
目標値をほぼ達成できた。達成度 70%以上	3 点
目標値を下回った。達成度 50%以上	2 点
目標値を大きく下回った。達成度 50%未満	1 点

4．評価２（本委員会からの付帯意見）

(1) 運営状況

・紹介率は減少しているが、逆紹介率は増加しており、引き続き地域の医療機関との連携について、努力されたい。

・外来診察、外来化学療法室、健診センター、ICU 等の整備により、逼迫していた診療・待合スペースの改善と外来機能の回復が図れることを期待する。引き続き本館改修について利用者等の安全対策に十分配慮されたい。

(2) 医療サービス

①必要なスタッフの確保と人材育成

患者数増に対し、スタッフの充足が徐々に進んでいるが、継続して人材確保に取り組んでいただきたい。

②救急・災害医療

病床稼働率も 100％を超える数値であり、病床の効率化による救急患者の受け入れを増やすことも考慮されたい。また市災害医療センターでもあることから、市と協力し災害医療への体制づくりを推進されたい。

③危機管理・医療安全

インシデント件数は前年度より増加傾向にあるが、アクシデントは減少している。インシデント報告が徹底されてきている成果と考えられ、引き続き管理体制を徹底し、報告されたインシデントから学びを得るサイクルを継続されたい。

④地域医療機関との連携

地域医療支援病院の承認も受けていることから、引き続き、近隣の医療機関と情報共有や連携を図り体制の強化を図られたい。

⑤医療環境の充実

運営面のさらなる飛躍を期待し、高度ながん治療や専門的医療に必要な医療機器の拡充について検討されたい。

(3) 施設利用者へのサービス

待ち時間に関して、令和 5 年 1 月より通院支援システムアプリ「HOSPA」の導入によるサービス向上は認められるが、引き続き、短縮できる方策を検討されたい。

(4) 利用者の評価

引き続き、患者アンケートを実施し、医療の充実及び医療サービスの向上に繋げられたい。

5．総括

令和 7 年度は、前年度と比較して入院・外来患者数は微減したものの、運営状況は堅調である。

特に、増築棟の建築は大きな成果であり、外来診察、外来化学療法室、健診センター、ICU の整備により、逼迫していた診療・待合スペースの改善と外来機能の回復が期待されます。また、市民の医療ニーズに対応するため、がんセンター、呼吸器センター、難病センターの 3 つのセンターを新設・機能強化し、当地域で手薄とさ

れてきた領域への貢献を進めている点は高く評価できる。

これらの取り組みの結果、令和７年度の管理運営状況は、増築棟建設費用を除けば、収支面を含め前年度に引き続き良好であり、この良好な状態は、医師確保や医療機器の更新に加え、効率的な病床管理といった運営面での手腕によるものも大きいと考えられる。

救急搬送受入状況は目標達成には至らなかったものの、ICU の拡充によって重症救急患者の受入れ増加が期待されます。

今後も、地域の医療機関との連携を強化し、入院中心の医療を提供する地域拠点病院としての役割を果たすとともに、引き続き市と協力し、医療水準の向上に取り組んでいただきたい。安全安心で市民に信頼される病院として、さらなる発展が期待されます。

あわせて、市災害医療センターとして、大規模災害や感染症流行時など非常時においても、市民の生命と健康を守る体制整備をさらに推進されたい。